

【第2回役員会資料3-①】

【報告資料】 【デジタル化に関するアンケート調査結果】

目的 道下団地町内会は、令和7年4月1日付け「デジタル化研究会を設置しました。会員の皆様が、利用する情報通信機器やインターネット普及・活用のアンケート調査を実施し、今後の研究会活動の参考にするものです。

調査 調査方法は、2025/5/18春の親睦会の参加者に対して、デジタル化の意識調査を行った。

1 調査対象参加者 23名 聞き取り調査3名含む

2 回収率96.0%

3 アンケート調査内容

(1) 性別

項目	回答数	割合
男	11	50%
女	11	50%
その他	0	0
合計	22	100%



リーダー | 回答者の性別は男女同数でした

(2) 年齢別

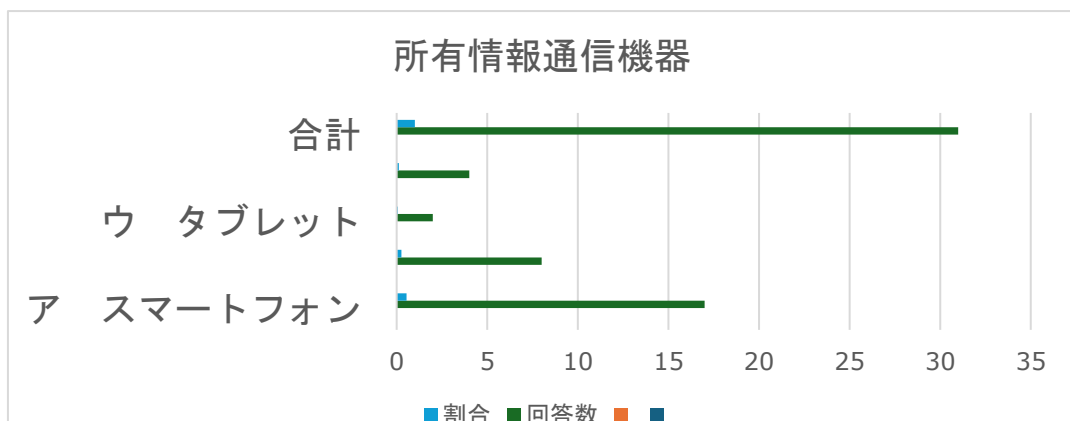
項目	回答数	割合
年齢65歳以上	20	91%
年齢65歳未満	2	9%
合計	22	100%



リーダー | 回答のほとんどは65歳以上の高齢者でした。

(3) あなたが所有している情報通信機器をお答えください（複数回答）

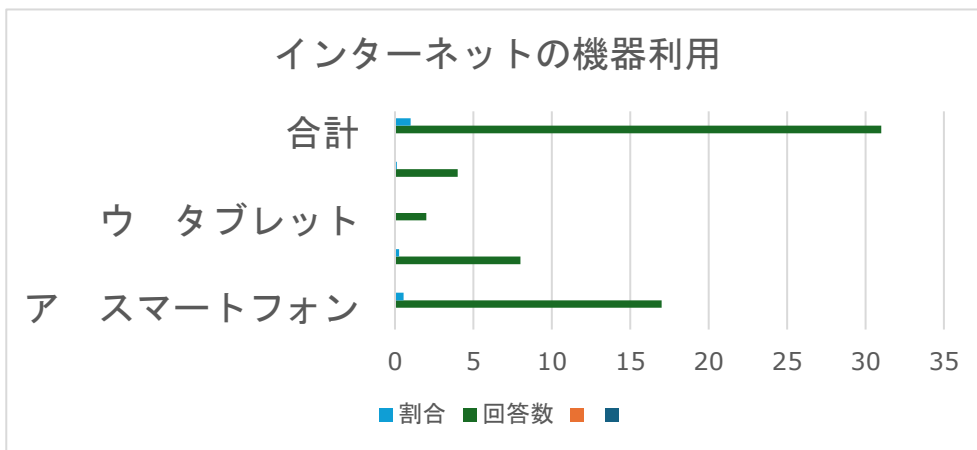
項目	回答数	割合
ア スマートフォン	17	55%
イ パソコン	8	26%
ウ タブレット	2	6%
エ 携帯電話	4	13%
合計	31	100%



リーダー	情報通信機器の所有は、半分以上の方が、最も多く、令和3年市が実施した33,0%を超えている。次にパソコンとなっている
------	--

(4) インターネットをどのような機器から利用していますか（複数回答）
（複数回答）

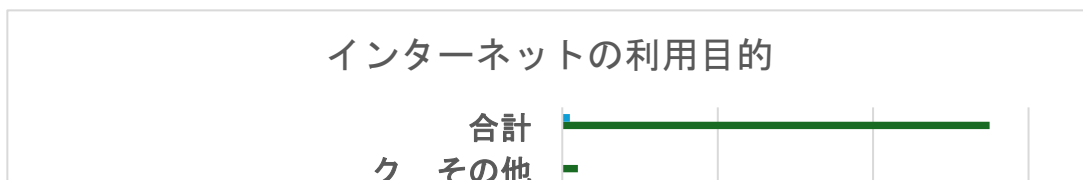
項目	回答数	割合
ア スマートフォン	17	55%
イ パソコン	8	26%
ウ タブレット	2	6%
エ 携帯電話	4	13%
合計	31	100.0%

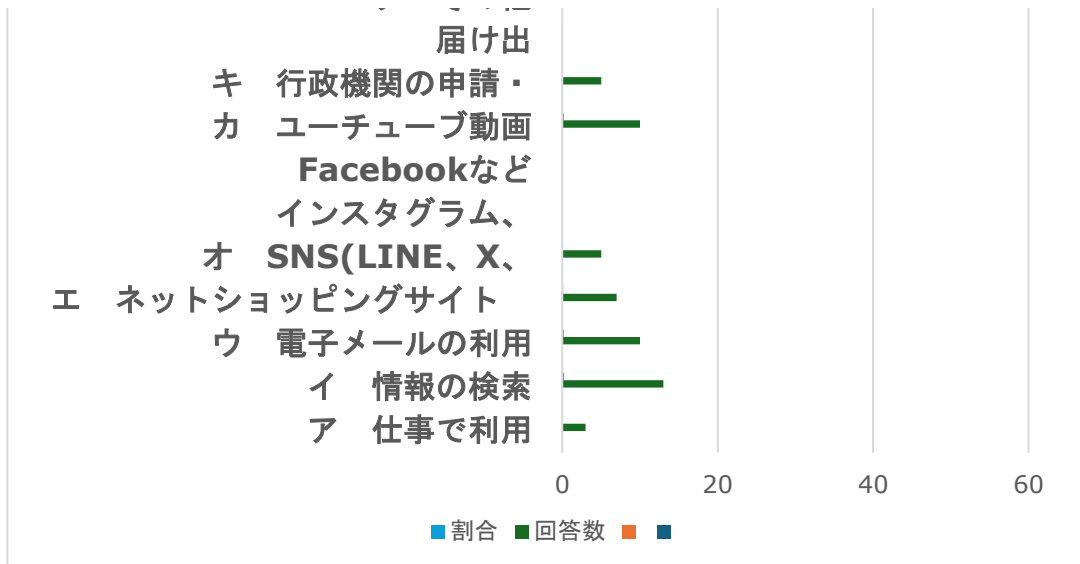


リーダー	インターネットを利用するための通信機器はスマートフォンが最も多く、次いでパソコンとなっている。
------	---

(5) どのような目的でインターネット利用をしますか（複数回答）

項目	回答数	割合
ア 仕事で利用	3	5%
イ 情報の検索	13	24%
ウ 電子メールの利用	10	18%
エ ネットショッピング	7	13%
オ SNS(LINE、X、Instagram、Facebookなど)	5	9%
カ ユーチューブ動画	10	18%
キ 行政機関の申請・届け出	5	9%
ク その他	2	4%
合計	55	100.0%

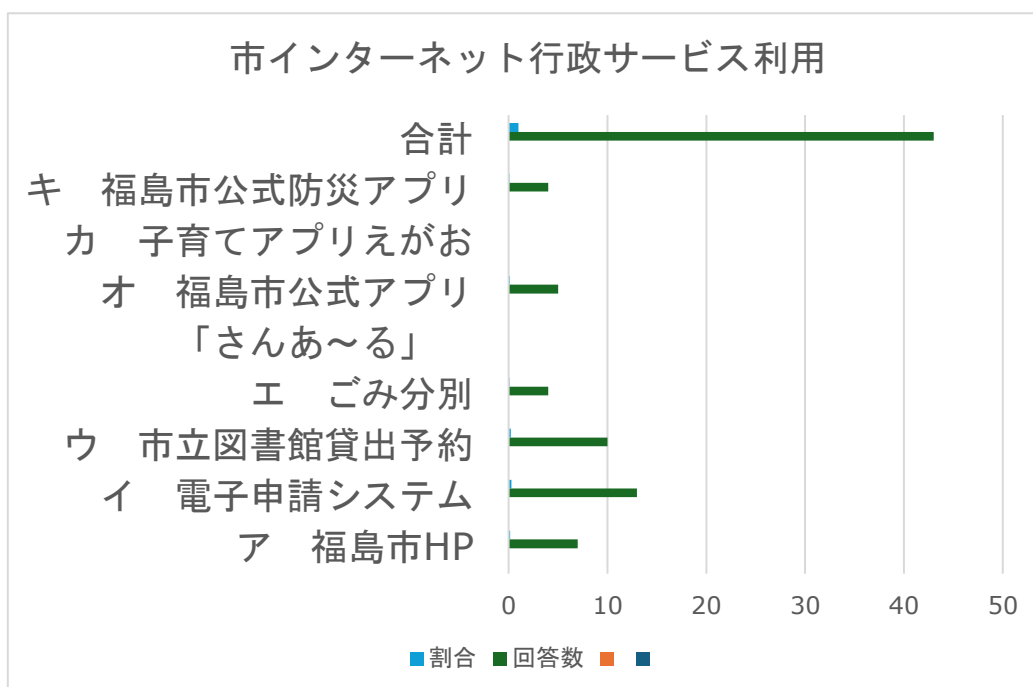




リーダー インタネットの利用目的は、情報の検索
電子メールの利用・ユーチューブ動画
が平均して多く、広く利用されている。

(6) 福島市インターネット提供の行政サービス利用（複数回答）

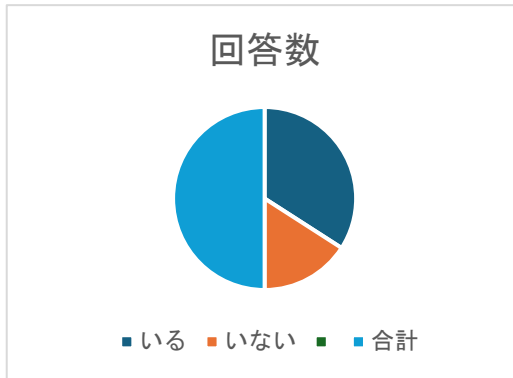
項目	回答数	割合
ア 福島市HP	7	16%
イ 電子申請システム	13	30%
ウ 市立図書館貸出予約	10	23%
エ ごみ分別「さんあ〜る」	4	9%
オ 福島市公式アプリ	5	12%
カ 子育てアプリえがお	0	0%
キ 福島市公式防災アプリ	4	9%
合計	43	100%



リーダー	市のデジタルサービスの利用は、電子申請システム市立図書館貸出予約の利用が多く、ごみ分別「さんあ〜る」の利用が低い
------	--

(7) インターネットに関して相談できる方が身近にいますか

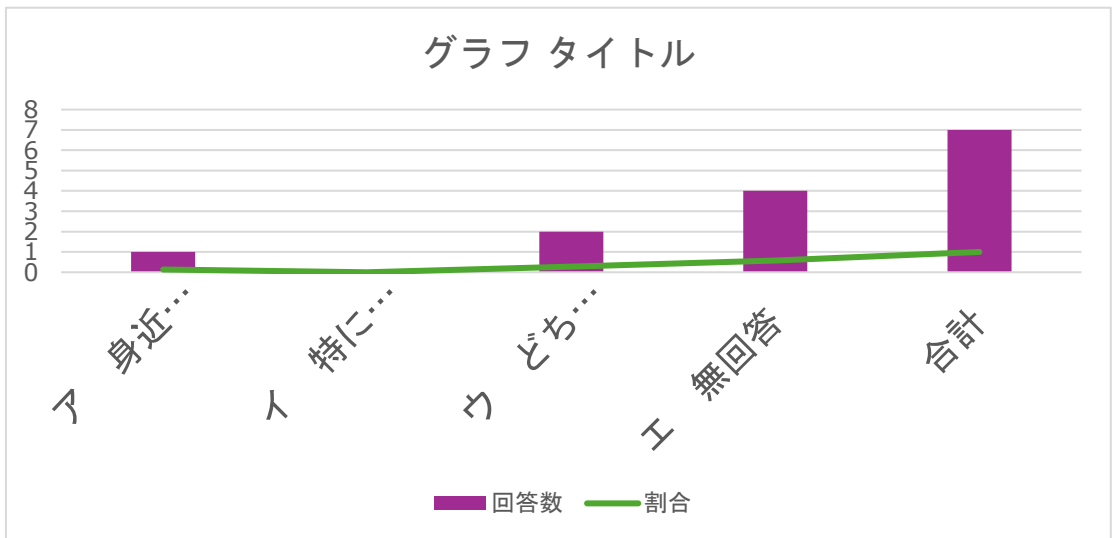
項目	回答数	割合
いる	15	68%
いない	7	32%
合計	22	100%



リーダー	インターネットに関する相談できる環境は、7割弱の方がおり、3割強は相談できる環境にない。
------	--

(8) 問7のイいないと答えた方は次にお答えください。

項目	回答数	割合
ア 身近に何か相談窓口が欲しい	1	14%
イ 特に必要ない	0	0%
ウ どちらとも言えない	2	29%
エ 無回答	4	57%
合計	7	100%



リーダー	インターネットに関して相談できない方の回答で、相談窓口が欲しいのは1名で、無回答者が多かった。できれば、身近に相談する環境があれば利用出来て便利である。
------	--

町内会デジタル化研究会まとめ

1

(現状)

本アンケートは、町内会のICT利用について実態を把握しました参加者の回答の大部分は、91%が高齢者でした。スマートフォン所有者の割合は、65歳以上で55%の半数超え、市の令和3年調査の60歳以上の30%を上回っている。一方、ガラケーのサポート期限終了、最後に残った、ドコモも、令和8年3月末に終了する。今回、回答の4人のガラケー使用者は、4G対応のガラケー「ガラホ」(今後、しばらく使用可能)を選択するか、転機を迎えている。既に、それに対処するため、スマートフォン移行を促進するため自治体が高齢者向けに、サポートを用意している。

2

(課題)

当町内会は、高齢者の割合と高年齢化が増大する生活環境の中で、ますます、高齢者が、情報化社会の格差が生じ孤立化が憂慮される。

3

(方策)

当町内会及びデジタル化研究会は、急速に進展しているICT社会に対応するため、なお一層の、町内会の通信機器の整備や人的養成・啓発など環境の条件整備の検討をし、不慣れ、または関心のある高齢者を身近にフォローし、情報の格差解消を図る。そのために、ICTの中心となるツールのスマホの操作普及を勧め当デジタル化研究会は、持続可能な事業として高齢者にその情報やスマホ操作の機会を将来的に向けて、提供するものとする。一方、市の町内会のウェブサイトに参加して、当町内会の情報提供や同サイトの情報の利活用を図れるよう、参加した後運用が可能か研究を進めています。

4

(まとめ)

終わりに、春の親睦会行事の多くの参加者から本アンケート調査に対してご理解とご協力いただき感謝申し上げます。
また、当町内会が目指す市のデジタル化推進事業に手を挙げるには、万全ではありませんが、先ず手始めに、町内会役員の皆様のmail登録を促進し、10月に市と試行運用ができるよう役員の皆様の賛同得ながら実施して参りたいと思います。つきましては最終的には、町内会の本事業が令和8年4月から本稼働できるよう努めて参ります。
同研究会リーダー 山口

